

その4

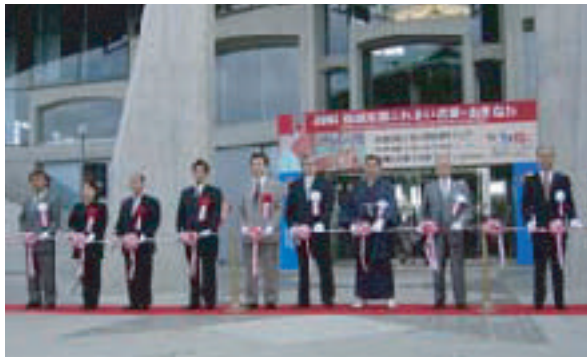
# 触れて感じる先人の技

## ◆伝統的工芸品月間推進国民会議全国大会◆

全国各地には、百年以上の歴史と文化に育まれ、脈々と受け継がれてきた、伝統の技（伝統的工芸品）があります。

京都府の十七品目を筆頭に、全国で二百近い品目が指定を受けていますが、沖縄県の指定品目数は新潟県と並んで、第二位（十三品目）（「別表参照」）。

これらの伝統の技を一堂に会し、伝統的工芸品を身近に感じてもらうと、



「伝統工芸ふれあい広場・おきなわ」開会セレモニー



「伝統工芸ふれあい広場・おきなわ」での展示・実演

『第十九回伝統的工芸品月間推進国民会議全国大会』が本土復帰三十周年記念の記念行事の一環として宜野湾の沖縄コンベンションセンター

で開催（十一月六日～十日）されました。

「伝統的工芸品月間」とは、経済産業省が昭和五十九年に定めたもので、毎年十一月を同月間として、伝統的工芸品産業に対する理解と国民生活への普及を目的に、全国各地で多彩

な行事が開催されていますが、全国大会においては、功績のあった伝統工芸士や各産地の団体・個人の表彰を行っています。

因みに今年度の経済産業大臣表彰として沖縄から本功労賞として「平良美恵子」さん、喜如嘉芭蕉布事業共同組合理事長が、優良団体をして「琉球絣事業共同組合（理事長 大城一夫）」がそれぞれ受賞されました。

更に、これらの文化を継承していくため、小・中学生の子供達に伝統的工芸品に対する関心を高めてもらうと併せて実施されている伝統的工芸品月間図画・作文コンクールでは、県内から、図画部門で、文部科学大

臣奨励賞（源河小 松田知子さん）、全国市町村教育委員会連合会会長賞（開南小 石川瑞起さん）、文部部門で、（社）日本民間放送連盟会長賞（南星中 津波美都里さん）がそれぞれ上位入賞を果たしました。

会場内で同時に開催されている「伝統工芸ふれあい広場・おきなわ」、「全国伝統工芸土展」では、ビデオ・パネルによる伝統的工芸品の歴史・技術の紹介だけではなく、全国から集まった伝統工芸士の方々による制作実演、一般来場者の制作体験コーナーもあり、伝統的工芸品の良さを肌で感じることもできるイベントとなりました。

### 沖縄県の伝統的工芸品一覧

	品 目	指 定 年 月	産 地 組 合
1	久米島紬	S 50. 2. 17	久米島紬事業協同組合
2	宮古上布	〃	宮古織物事業協同組合
3	読谷山花織	S 51. 6. 14	読谷山花織事業協同組合
4	読谷山ミンサー	〃	
5	壺屋焼	〃	壺屋陶器事業協同組合
6	琉球絣	S 58. 4. 27	琉球絣事業協同組合
7	首里織	〃	那覇伝統織物事業協同組合
8	琉球びんがた	S 59. 5. 31	琉球びんがた事業協同組合
9	琉球漆器	S 61. 3. 12	琉球漆器事業協同組合
10	与那国織	S 62. 4. 18	与那国町伝統織物事業協同組合
11	喜如嘉の芭蕉布	S 63. 6. 9	喜如嘉芭蕉布事業協同組合
12	八重山ミンサー	H 1. 4. 11	竹富町織物事業協同組合
13	八重山上布	〃	石垣市織物事業協同組合